

令和4年度 第3回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

日 時：令和4年12月7日(水) 16:05 ~17:25

場 所：琉球大学病院がんセンター(ZOOM 会議)

出席者7名：笹良剛史(豊見城中央病院)、野里栄治(北部地区医師会病院)、中島信久(琉大病院)、安次富直美(琉大病院)、足立源樹(那覇市立病院)、名嘉真久美(がん患者会連合会)、増田昌人(琉大病院)

欠席者6名：屋良尚美(県立中部病院)、中村清哉(琉大病院)、酒井達也(八重山病院)、朝川恵利(宮古病院) 三浦耕子(県立中部病院)、栄昌美(沖縄県健康長寿課)

陪席者3名：安座間由美子(中部病院)、有賀拓郎(琉大病院)、三井清美(琉大病院)

報告事項

1. 令和4年度 第2回緩和ケア・在宅医療部会 議事要旨

資料1に基づき、令和4年度第2回緩和ケア・在宅医療部会議事要旨の報告があり承認された。

2. 令和4年度 緩和ケア・在宅医療部会、在宅WG、研修WG 委員名簿

資料2に基づき、各委員の名簿について報告があった。

3. 令和4年度 緩和ケア研修会開催日程一覧表について

資料3に基づき、緩和ケア研修会開催日程の報告があった。

4. 令和4年度 緩和ケア研修会の報告書について

笹良委員より、資料4-1に基づき、沖縄県立南部医療センター・こども医療センター(第3回10月8日開催)について報告があった。

安座間先生より、資料4-2に基づき、沖縄県立中部病院・八重山病院(第4回10月22日開催)について、コロナの濃厚接触者等により欠席があったこと、南部医療センター・こども医療センターと同様に、動機付けのために「がん患者等への支援」を「e-learningの復習・質問」の後へとプログラムの変更をしたこと、感染対策として、パーテーションの設置や、グループワークの際にゴーグル着用を行ったと報告があった。また、ポストアンケートで点数が低かった項目については、各自復習できるように解説付きの資料を配布したとお話があった。

5. 令和4年度 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会(E-FIELD)について

資料5に基づき、今年度のE-FIELD開催について笹良委員より報告があった。今年は木澤先生が異動された先の筑波大学主幹で開催され、プログラムについては、今後改定されたものを確認しつつ行われるとの事だった。九州・沖縄地区の病院向けの研修会については10月23日に開催され、34施設程の参加、在宅向けは12月18日に開催予定なっているとの事だった。また、指導者研修会を開催し、3年後をめどに各都道府県でファシリテーターや講師を10名程育成し、その後、事業を都道府県へおろすような形で進んでいると報告があった。今回の指導者研修会は5名程参加予定となっており、毎年指導者の育成を図っていく予定との事だった。

6. 日本緩和医療学会 第4回九州支部学術大会について

笹良委員より、日本緩和医療学会 第4回九州支部学術大会のホームページより報告があった。11月26日(土)に大分にてハイブリッド形式で開催された。申し込みは済んでいるが、オンデマンドの配信は12月14日までとなっているとの事だった。次回、第5回は鹿児島で開催予

定と情報提供があった。<http://square.umin.ac.jp/kanwa-ks4/>

7. 「沖縄県内のがんに関する医療情報」のがんじゅうネット掲載について

笹良委員より、後程協議事項で報告しますとの事だった。

8. 第5回日本GRACE研究会年次大会 IN 沖縄について

笹良委員より、資料6に基づき12月17日(土)、18日(日)に友愛医療センターにてハイブリッド形式で開催されるので、参加者ご希望の方はお申し込み下さいと依頼があった。

9. 2022年度緩和ケアおよび精神腫瘍学の基本教育に関する指導者研修会について

増田委員より、資料9について、琉球大学病院では3名受講予定と報告があった。また、緩和ケア研修会がスムーズに行えるよう各病院からも中堅・若手の先生に受講をお願いしていただきたいと依頼があった。

希望される先生はどなたでも受講できるので是非受講いただき、継続的な緩和ケアの活動ができるようご検討をお願いしますと笹良委員からも依頼があった。

10. 「がん診療連携拠点病院等の整備に係る指針」改定について

増田委員より、資料8について、6つの拠点病院で行われる現況調査と整備指針を照らし合わせたので、拠点病院以外の先生方もご確認いただきたいと依頼があった。

資料37 ページNo.4について、他の拠点病院は努力目標だが、都道府県拠点病院については治療開始前までに全てのがん患者さんは相談支援センターに行くことが義務付けられたと説明があった。琉球大学病院では、12月1日からがん相談支援センターの外來枠を新設し、支援センターへ行っていない人については、外來看護師や会計担当者が把握できるシステムを作ったので、実施状況については次回お伝えしますと報告があった。

資料37 ページNo.5、緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを月1回程度定期に開催すること、について、年明けから回数を増やして行うのでご参加頂きたいと依頼があった。

中島委員より、ホスピスの緩和ケア交流会を今後WEBで復活する予定はないかと質問があった。笹良委員より、話は上がっているが進んでいないと回答があった。

中島委員より、以前は各病院で持ち回りにより開催していたが、当番病院の負担になってしまう。そのため、テーマを決めて窓口を広く設け、ディスカッションできるような場を年に数回出来ると各施設の顔を繋ぐ機会にもなると思うと意見があった。

笹良委員より、今後どうするかは年度内に一度打ち合わせを行い、できれば初めは琉大から始めたかどうかと提案があった。

増田委員より、カンファレンスを月1回開催する義務があるのは都道府県拠点病院の琉球大学病院のみとなっている。他の拠点病院は資料に記載されているような文言はないが、地域の連携の役割として年1回以上の開催との事でチェックが入るはずである。また、3年間はこの項目は残るので、要件を満たすように努めましょうと報告があった。

安次富委員より、現在カンファレンスについて、月1回行う前提で案を作成しているが、講師依頼予定の先生の都合などで開催できなかった場合に交流会を入れて数を合わせられると有難いと意見があった。

11. その他

特になし

協議事項

1. 痛みのスクリーニングとモニタリングデータ抽出について

有賀先生がご退出されたため報告なし。

2. 緩和ケアマップ新規掲載依頼先について

増田委員より、資料9に基づき、緩和ケアマップ作成・掲載も都道府県拠点病院の義務となっているが、新規依頼する医療機関についてどの様に絞ったら良いか議題提起があった。

笹良委員より、地域医療支援病院となっている病院でも訪問診療を持っているのであれば掲載しても良いのではと意見があった。

野里委員より、北部地区医師会病院では訪問診療は今年から行っているが、部門としては成立しておらず、24時間対応や、訪問看護も行っていない。緩和ケアマップには今のところ掲載できる状況ではないと説明があった。

中島委員より、中頭病院はクリニックの方で対応していると情報提供があった。

笹良委員より、中部病院や浦添総合病院も対応しているはずと情報提供があった。

中島委員より、緩和ケアマップのエンドユーザーについて質問があった。

増田委員より、連携室ではないかと回答があった。がんセンターとしてきちんと対応できる施設の絞り込みを行いたい、掲載基準をどうしたらよいか相談したいとのことだった。

笹良委員より、強化型の在宅支援診療所は残し、複数の麻薬を使用できることや、皮下注射ができることを最低ラインとする。また24時間対応できず、がん患者の看取りにいけない所は外した方がよいと意見があった。

増田委員より、アンケートの質問を5つぐらいにまとめたいと依頼があった。

笹良委員より、在宅ワーキングの議題で取り上げたらどうかと提案があった。

増田委員より、在宅ワーキングの委員へメール審議を試みますと意見があった。

3. 都道府県がん診療拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会からのアンケート内容について

増田委員より、資料10について、拠点病院の整備指針について会議があるので、「緩和ケアの提供体制について」国がんからアンケート調査があったと説明があった。アンケートの項目は現況調査や、指定要件に入ってくる重点項目になるため、確認して頂きたいと依頼があった。また、緊急放射線治療等、自施設で出来ない場合の他施設への提供体制については文書で作成しておいた方がよいと思うと意見があった。

4. 次回令和4年度第2回緩和ケア・在宅医療部会の日程について

令和5年3月頃 15:00～17:00の間で1時間予定

5. その他

増田委員より、令和3年度第5回 緩和ケア在宅医療部会 在宅ワーキングにおいて、事実誤認をしての発言をしてしまった。その為、中島先生を始め多くの方にご迷惑をおかけしてしまった。今回お詫びして発言を修正しますと謝罪があった。また、この件については文書にて皆様へメールしていますので、ご確認をお願いしますと報告があった。

中島委員より、該当の議事要旨の訂正依頼があったことを受け、訂正後の令和3年度第5回緩和ケア在宅医療部会 在宅ワーキング議事要旨を次回の本会議にて報告事項とする。

以上